

月二日現在の買収及び管理替えの農地面積は約一八六万九千町歩であるから、農地の売渡し実績は政府が取得した農地の九四・五％に達し、この農地を買い上げた小作人の延人員は八九万四千人に達している。又牧野の売渡し面積は九万三千餘町歩で取得面積の四二・三％、買い上げ小作人の延人員は一五万七千人に達している。

この如き農地の売渡しによつて全国の自作地および小作地の構成に如何なる変化が変えられたか、農地改革直前において全国の小作地の割合は四三・五％であつたが、二十二年八月には三九・五％に減少している。取得地が全部小作人に売渡されれば全国平均小作地の割合は九・三％となるはずである。

農地改革が一応完了せる後になお小作地として残存する面積は、地主保有地として約四一万六千町歩その他四万八千町歩全体で約四六万五千町歩である。この残存小作地は従来の小作地の約一八・八％に当るのであるが、当初豫定された小作地の八〇％を解放せんとする農地改革の目標は一応達成されたこととなる。

かくて、農村社会の自小作別構成は次の如く変化した。即ち、昭和二十三年十二月の農林省推定によれば二十二年八月において全農家の三六・五％を占めていた自作農は凡そ七〇％に増加し、二〇％であつた自小作農は二二・五％となり、小自作農は一六・九％から二〇％へ、小作農は二六・六％から五・六％へと著減を示しているのである。

※

以上のような農地改革が、果してその企図する

農村民主化の目的をよく果しえたかどうかは一つには農地改革自体の性格にかゝり、他は客観的條件によつて制約される。すでに多くの論者によつて指摘されたようにこの農地改革は進歩的な面と保守的な面を併せもつという矛盾せる性格を有する。高率現物小作料と耕作権の不安定によつて特徴づけられる地主的土地所有から小作農民を解放して、経済的にも人格的にも独立せる自営農民を作り出すという点においてはたしかに進歩的性格を有する。しかしその反面において農民の伝統的意識の中に強く巢喰う土地所有欲を満足せしめ、自作農という排他的、孤立的な小土地所有者を多く作り出しわが國農業問題の宿痼である小農体制をいよいよ強化しようとする点において保守的性格を強く有する。この両面の矛盾する性格が今後の農村民主化の問題についてたえず相克するであらう。

その他残された問題として一町歩の貸付地を認めたこと、山林原野を殆んどそのまま残したこと未墾地の開放が不徹底であること、又日本農業生産力発展の痛ともいふべき零細経営克服に対して何らのみるべき方策を構じえなかつた点などが農地改革の成果を著しく減殺するものとされている。

しからば、農地改革を包む客観的條件はどうか農産物の大部分を価値以下の低い価格で強制的に買上げる供出制度、ドツデライン下シエール擴大による農家購入品の価格騰貴、課税の重圧、外国貿易による圧迫といった幾多の悪条件が累積している。

この悪条件下恐慌の発現せんとするときに果してよく農民がその土地所有を維持し自作農民として健全な経営をつづけよく生産力をたかめ、生活水準を上昇せしめて、農地改革をして真の農業改革たらしめうるか、これ全く今後課せられたる困難にして重大なる問題である。

### 日本人口学会の成立

戦後わが國人口問題の重大性にかんがみ、関係学者の相互協力に資するとともに又研究の國際的協力に便するを目的として昭和二十四年一月二十三日新しく日本人口学会が創立せらるるに到つた。その創立趣意書並びに会員氏名を掲ぐれば次のとおりである。

### 日本人口学会創立趣意書

戦後の日本の人口現象は錯雑した社会経済情勢の下に異常な變動を来している。こゝにおいて日本の人口現象を各科学の分野から総合的に検討し、その現状と將來の傾向を明かにすることは日本再建、特に経済上及び公衆衛生上の諸問題の解決のため必要不可欠からざる事柄である。

更に日本の人口現象は世界の情勢に及ぼす影響が極めて大なるにかんがみ、これを世界の人口現象の一環として研究することもはなはだ必要である。そのためには特に我等の研究はどこまでも科学的客観的に事實の把握に終始すべきである。さきに来朝せる多くの外国の著名な人口学者たちの等しく力説したところも正にそれである。

これ等の事態にかんがみ、日本における各方面

の人口現象の研究家は相集つてここに日本人口学会を創立した。すなわち関係科学のすべての分野にわたり総合的に日本の人口現象と、その経済面、公衆衛生面等に及ぼす影響を研究し、関係国際機関とも能う限り、良き連絡を保ち、世界における人口研究に貢献しようとするものである。

会 員 名 簿 (ABC順)

○印は常務理事

立川 清	曾田 長宗	下条 康磨	瀬木 三雄	岡崎 文規	小田 橋貞寿	西野 陸夫	永井 享	○水島 治夫	美濃口 時次郎	丸山 博	○古屋 芳雄	小山 隆	喜多野 精一	川上 理一	勝矢 俊一	板垣 与一	犬丸 秀雄	本多 竜雄	林 惠海	安部 雄吉
高橋 梵仙	○館 稔	篠崎 信男	島村 俊彦	斎藤 潔	岡田 謙	野尻 重雄	中川 友長	○森田 優三	三浦 運一	三国 一義	久保 秀史	小山 栄三	木内 信藏	川野 重任	川井 三郎	神谷 慶治	石田 竜次郎	福田 邦三	菱沼 從尹	有沢 広巳

高橋 正雄	寺尾 琢磨	内田 寛一	上原 轍三郎	山中 篤太郎	吉田 秀夫	吉田 博人
田中 啓爾	東畑 精一	上田 正夫	渡辺 定	矢内原 忠雄	吉益 修夫	吉阪 俊藏